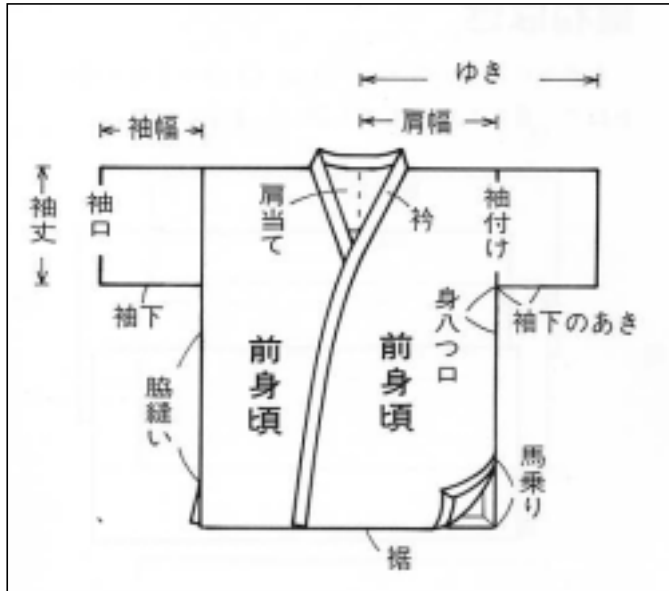


肌襦袢を縫う

晒し木綿を用いて 肌襦袢を作ります
着易い下着を 自分で作ります

出来上がりサイズ

出来上がり 身丈 : 66cm (1尺7寸)
出来上がり 袖丈 : 20cm (5寸5分)
出来上がり 衿幅 : 2cm (5分)
出来上がり 馬乗り : 10cm (3寸5分)
出来上がり 身八つ口 : 11.5cm (3寸)
出来上がり 袖つけ : 袖丈いっぱい
出来上がり そで下の開き : 6cm (1寸5分)
裁ち切り衿肩開き : 8.5cm (2寸3分)
くりこし : 長着 同寸 または +1cm=4cm ぐらい (1寸)



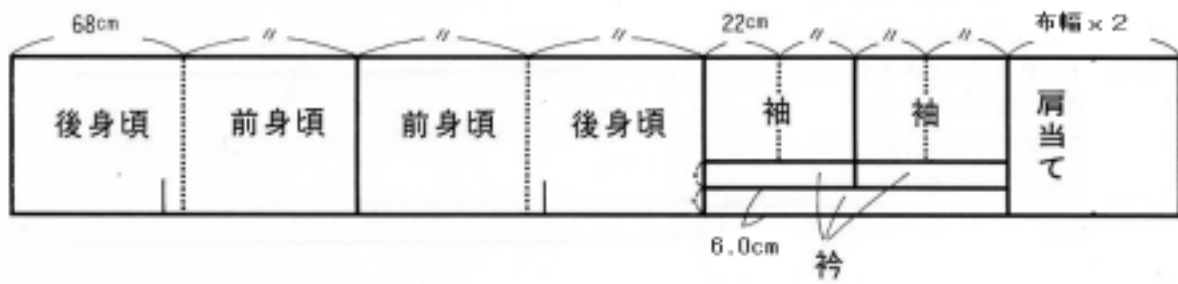
注意

上記 寸法は あくまで参考寸法です！
鯨寸法は 単に 換算したのではなく 鯨で 切りよくしてあります！

参考材料

晒し 450cm 程度

手順1 裁ち方



上図の実線の部分を切り離します

横方向を切ります

そのとき忘れてはいけないのが布目が通っていること
つまり横糸と横糸の間を切ることです

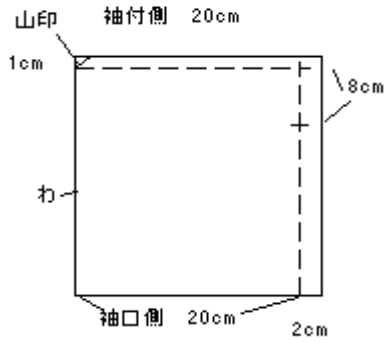
初めてで難しい人は横糸を一本抜いて糸の間をわかりやすくしてから切ります



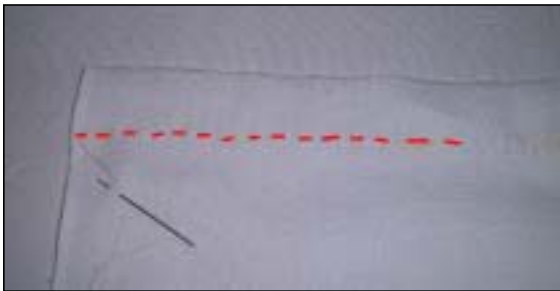
縦方向を切る時は晒しの場合は横と同じように糸目に注意して切りますが
絹物などの場合は無理なのできっちりこてやとうしべらをしてから切り離します

手順2 お袖のしるしを します

お袖の印付け お袖は 左右 同じです

**手順3 お袖を 縫う**

縫い代は 割りますから 出来るだけ細かく縫います出来ない時は 2度縫いします
 縫い始めと 縫い終わり は 返し縫いをして タマ止めが 外に はみ出さないようにします



縫代を 割ります



縫い代 を 3折りぐけに します

Point!

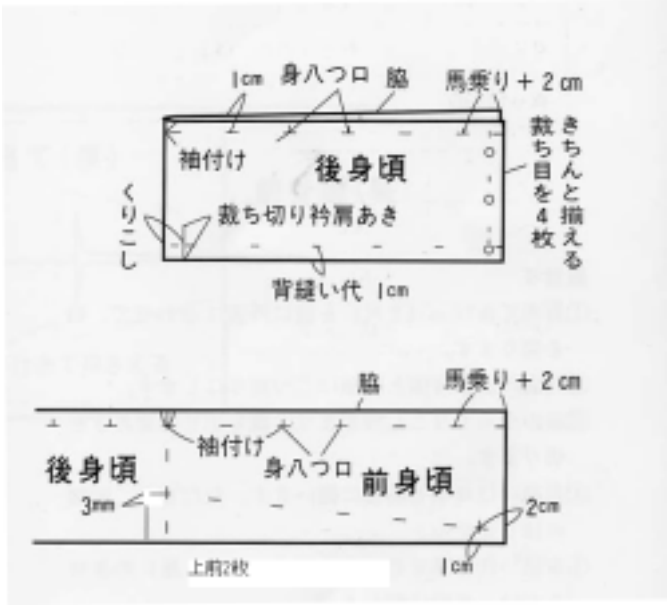
なるべく 糸を 引かずに 縫うように 一気にくけます



両袖作っておきます

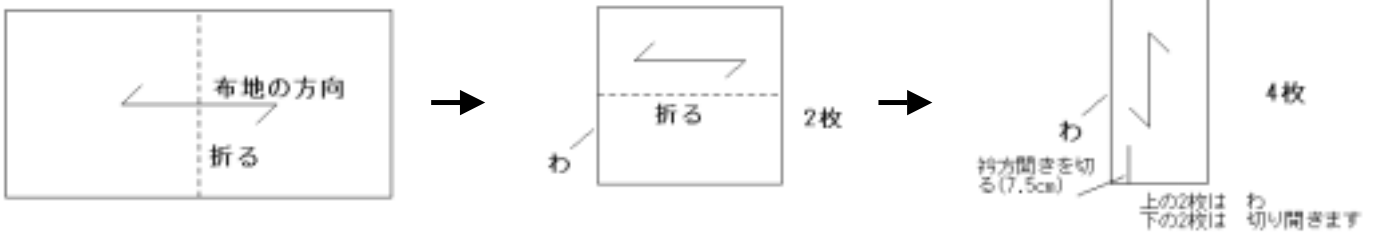
手順4 身ごろの印をします

身ごろを 中表に 合わせて 半分に 折ります

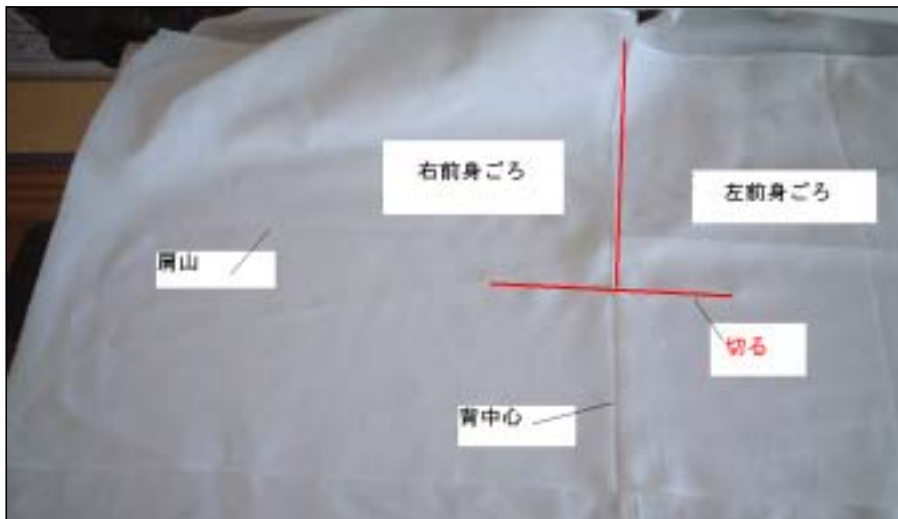


しるしは へらですが 見にくいときは 糸印でも OK
繰越は 最近の 着付けでは 小衿を 外に 出さないのが 流行なの
ここでは あえて 出ないように 寸法 と しるし付けに しています

手順5 肩当の 準備 を します



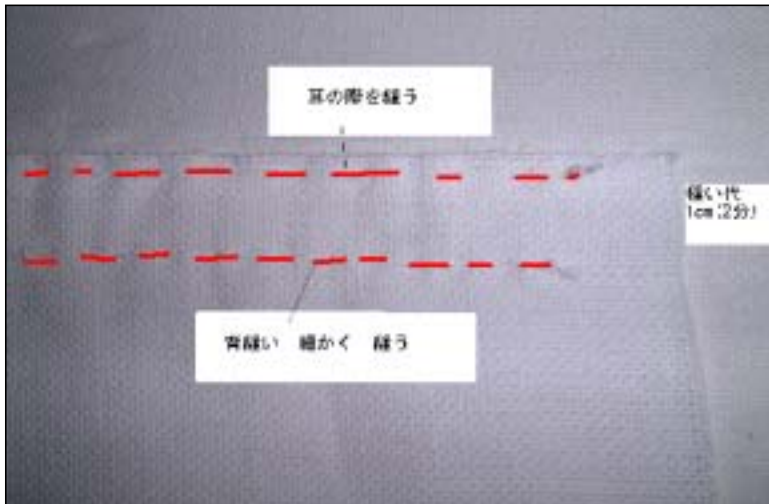
出来上がりを 開いたところ



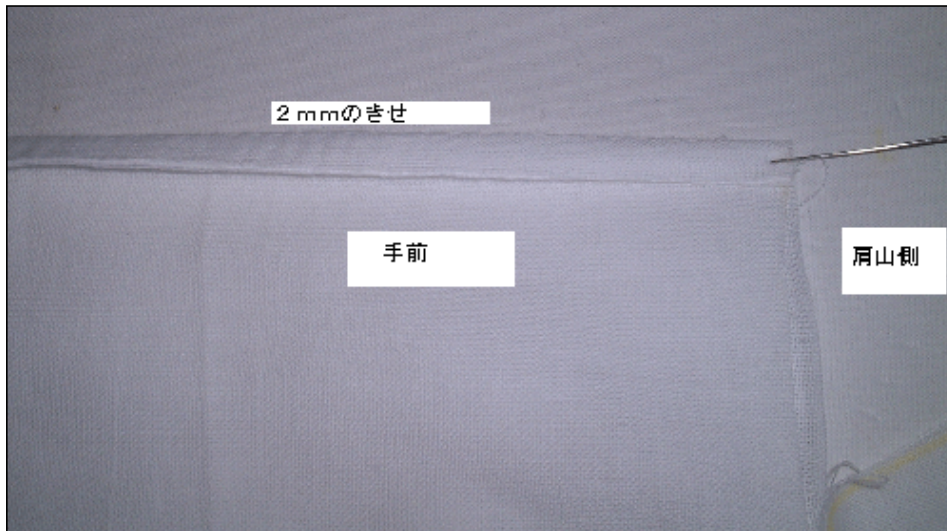
手順6 身ごろの 背を 縫う

身ごろの 背縫いをする

ここは 一番 力の 入る ところなので やはり 出来るだけ 細かく 縫います
出来ないときは 2度縫いする



手順7 衿肩開きを右手に持って 縫い代 に 2mm の きせ を つけて 手前に 折ります



ところで きせ？ て わかりますか？

和裁の 専門用語 の一つで 縫い代 の 内側 に おり を つける こと なんです
きせは なるべく 少なく 成る ように 努力 します ても きせを まっすぐ に しておけば
多少の 縫い目 の 曲がりも わから なくなります
これが きせ マジック なんです ね

手順8 肩裏を載せます

身ごろを開いて裏側に肩裏を載せ 衿肩周りに しつけをかけます

**手順9 袖を付ける**

袖は 身ごろと 肩裏で はさんで つけます
 はさみ方は 身ごろの 裏から 見て
 身ごろ裏 袖表 肩裏表 の順に なるように して
 肩裏を 身ごろの 背縫い分 ずらして
 身ごろ を 見ながら縫います
 縫い始めと 片山 縫い終わり は 返し針を してすくい止めで 終わります



両袖縫い終わったら ひっくり返して 身ごろ と 肩裏 の 間にお袖が 入っているのを 確認

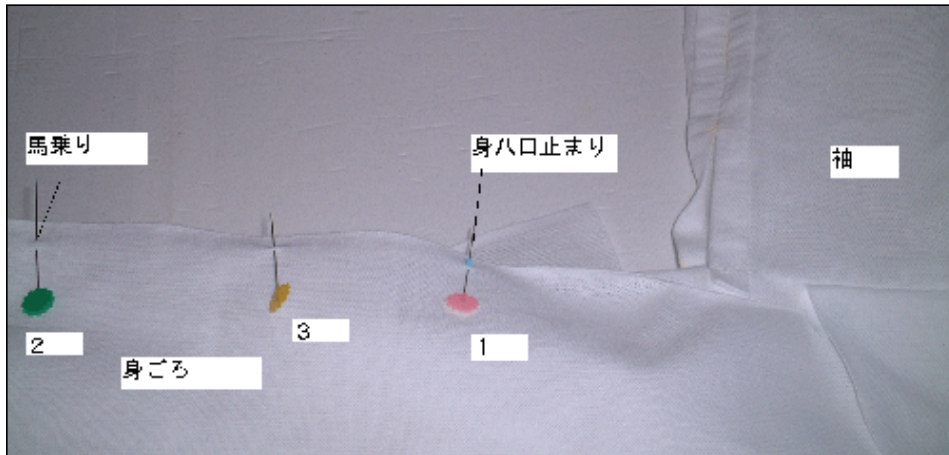


手順10 背縫いに 肩裏 を 一目落とし で とじます



手順11 脇を 縫います

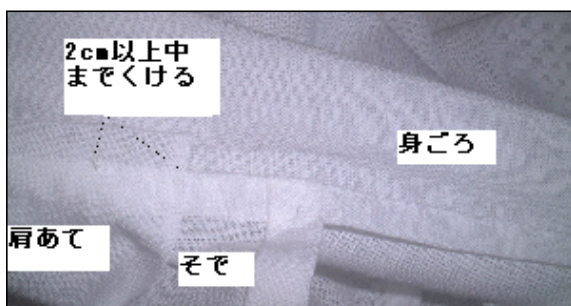
身八口止まり 馬乗りの 順に 待ち針 を 打って 間にも 打ちます
縫い代は 1cm で 細かく 縫います 出来ないときは 2度縫い の 後 割ります



縫い終わった 縫い代は きれいに 割った 後 みみぐけ します

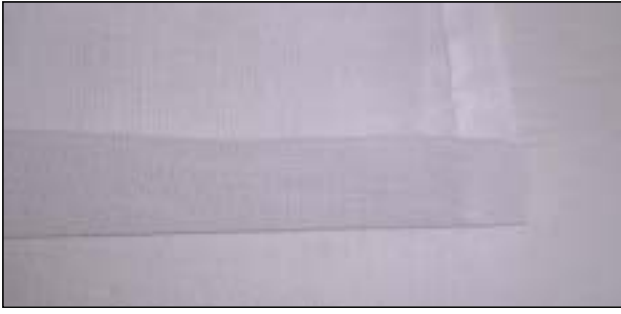


肩裏 の 中は 2cm ぐらい 入ったところまで くけます

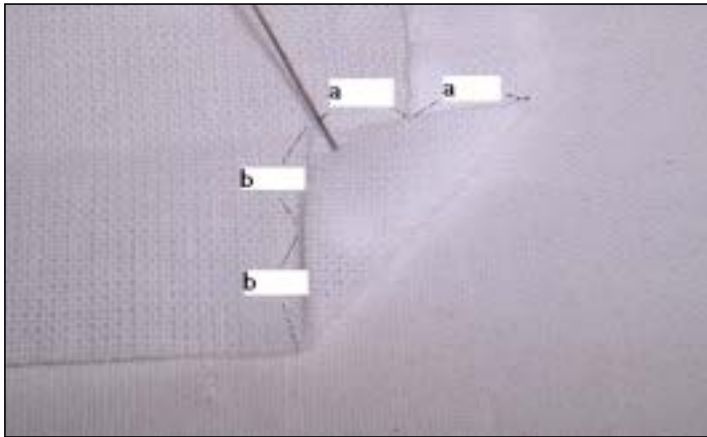


手順 12 裾をくける

仕上がり で 折をつけます



角を折ります



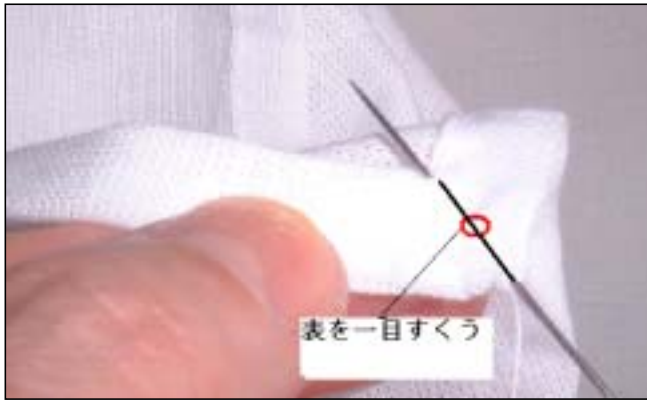
b を 折ります



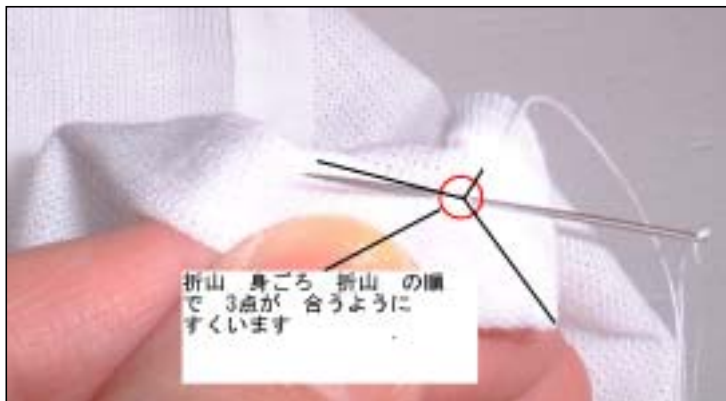
仕上げ線で 折ります



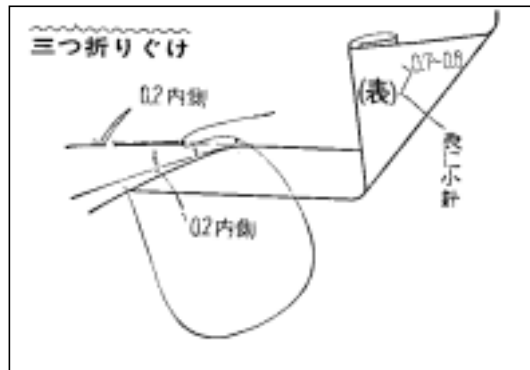
角から針を入れ中央で 表を 一目すくいます



さらに 3点のあった点でをそれぞれすくう



そのまま裾を3折ぐけにする



用語!

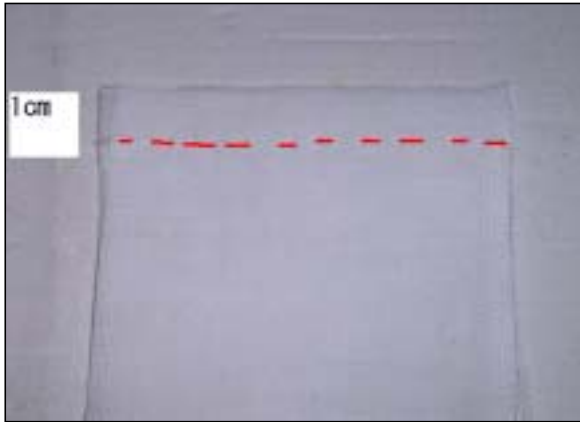
3つ折ぐけ?

3つ折りにした山から 表の糸2,3本を すくい又山へ戻る を 繰り返す
この時 表と 山を 結ぶ 距離が 最小に なるように 練習する

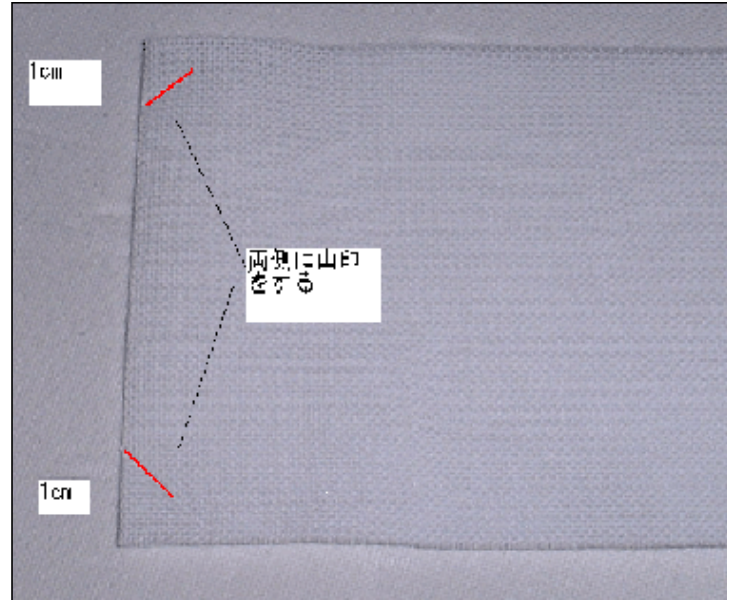
手順 13 小衿をつける

1cm の 縫い代で衿を はぎ 縫代を割る

剥ぎ方

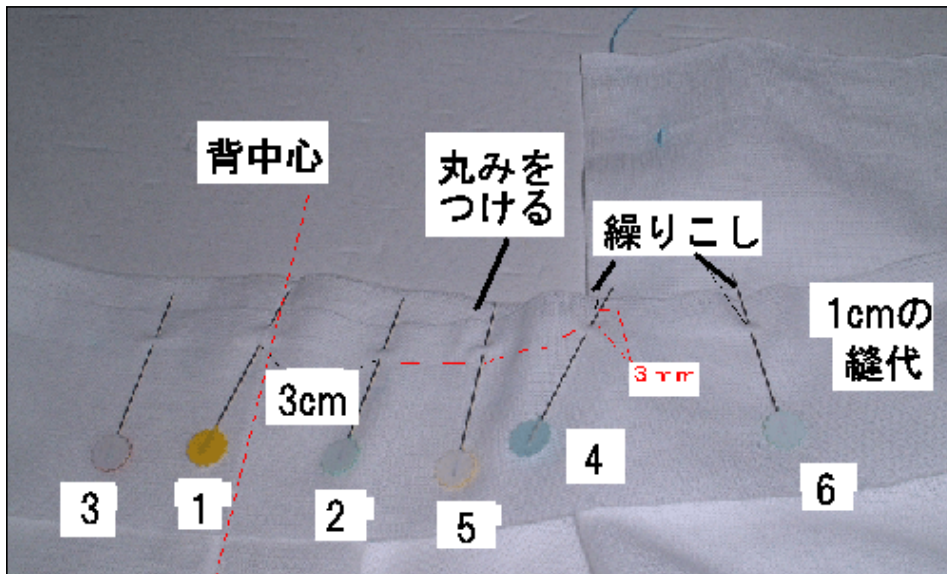


縦に中表に半分に折る

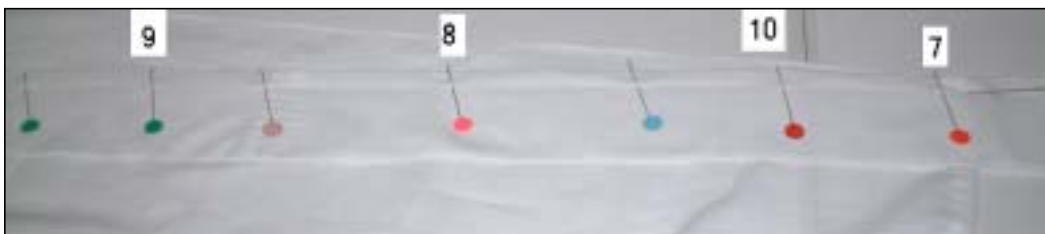
**手順 14 衿を 身ごろにつける**

待ち針の打ち方

衿肩回りに先ず 待ち針を打つ



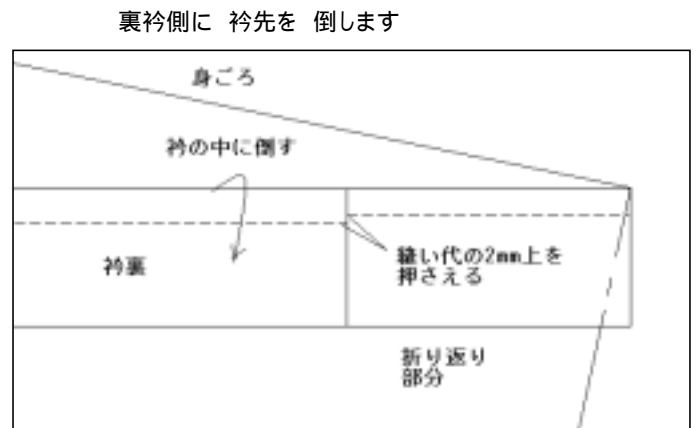
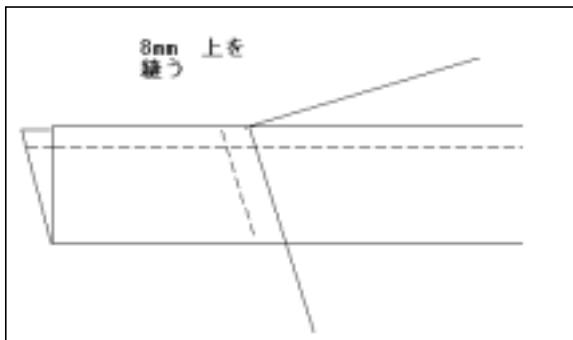
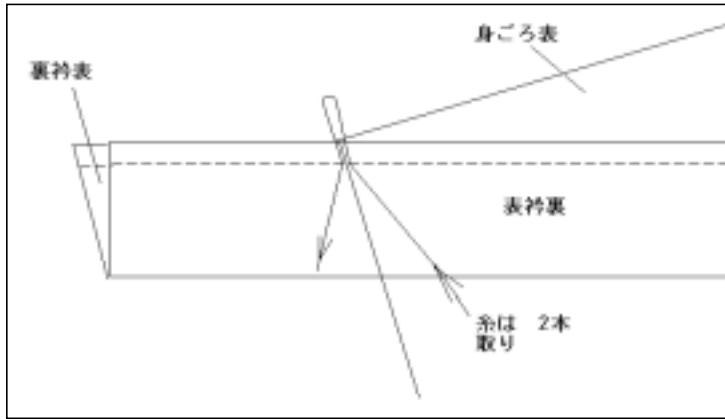
次に平らなところに置いて 衿先に 先ずうち 間に 待ち針を 均等に 打っていきます

1cm の 縫い代で 小衿を つけます
縫い始め と 片山で 返し縫 を しておきます

手順 15 衿先の 始末

衿先の止めを します

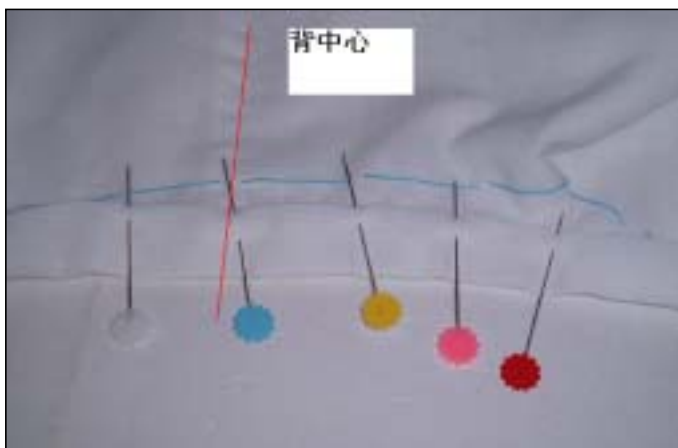
表衿 身ごろ 裏衿 の 順に 糸 2,3本を すくって 表衿に 戻って来ます



縫い代からはみ出した 身ごろを 切落とします



小衿幅が 2cmに 成るように 中心から 衿を 折って 縫い代に 載せていきます

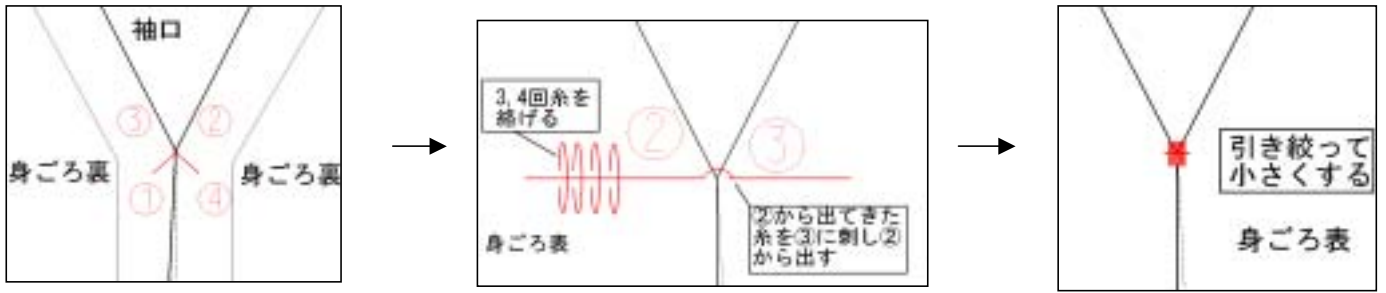


衿の 内側から 針 を 出して 衿を 本くけ で 身ごろに 縫い付けていきます

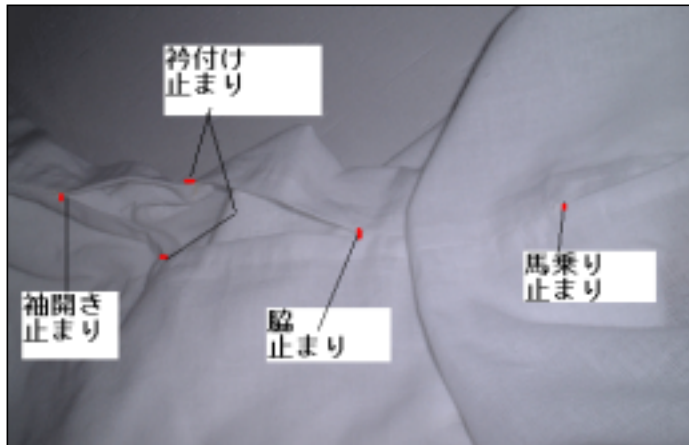
これで 99% 完成

手順 16 虫止めをする(門とめ でも OK)

門止め(虫止め)の 手順
 身ごろの裏 から へ 針を出し 身ごろの表側に 門止めを 作ります



袖つけ止まり 4個所 , 身八つ止まり 2個所 馬乗り止まり 2個所に 止めを する



手順 17 寸法を確認して アイロン仕上げをして 完成です

Check Point

- 1 身丈
- 2 ゆき
- 3 袖丈(左右が 同様に出来ているかもCheckしましょう)
- 4 門とめ